

## 三宅島の現状（その60）

平成15年8月12日  
三宅村災害対策本部

### 【気象及び火山活動状況】 7月25日から8月10日

この期間は、梅雨前線が伊豆諸島付近に停滞し高気圧の縁を回って南から湿った空気が入り雨の降る日が多くありました。28日から8月1日にかけての総雨量は100ミリから170ミリに達しました。また、8月2日には三宅島でも梅雨が明けたと思われま

す。火山の活動状況は、この期間に三宅島を震源とする有感地震はありませんでした。噴煙の状況は雲のため観測できない日が多くありましたが、8月1日、5日には白色の噴煙が火口上800mまで上がっているのが観測されました。

火山ガス(SO<sub>2</sub>)の放出量調査は、5日に海上保安庁の協力により、6,200トン/日、8,100トン/日を観測しました。

島内のガス濃度(SO<sub>2</sub>)は、26日アカコッコ館で3.2ppm、28日阿古船待で2.8ppmを観測しました。(東京都環境局観測)

### 【島の夏】

8月になり例年より遅い「梅雨」がやっと明け、島は夏の日差しと湿った南風が吹くようになり蒸し暑い日が続いています。

台風10号の影響により、お盆休暇が予定より早まり防災関係者(作業員)が島から全員引き上げ、残っているのは各機関の防災関係者だけとなりひっそりと静まり返っています。

台風10号の北上に伴って島でも南の風が吹き樹木の倒壊等が心配されましたが、殆ど被害はなくいつもの島の風景に戻っています。

今年の夏はいつもと違って、「梅雨」明けが遅いところに台風の到来や雨の日が多く、真夏のキラキラする暑さはどこかにいってしまい、この頃は早朝の空気や夕焼け空にどこか秋の気配を感じるようになってきています。

秋を象徴するような光景が役場前の花壇で見つけることができました、「ススキ」の穂が満開に咲いているのは驚きました。

今年も昨年に引き続き、小中高生による「ふるさとふれあい体験」が8月4日、5日に三宅島で実施され、島の海や学校、わが家と短い時間ではありましたが有意義に過ごすことができたのではないのでしょうか。2日とも晴天に恵まれ思い思いの体験ができ夏休みの思い出として心に残ったことと思います。

【 ふるさとふれあい体験参加者 】

- ・小学生 91名
- ・中学生 46名
- ・高校生 56名
- ・保護者 128名

【 滞在型及び日帰り帰宅事業の実施状況 】

(1) 滞在型帰宅事業の結果

7月25日から29日 坪田地区 参加者 144名

(2) 日帰り帰宅事業の結果

7月31日 阿古地区 参加者 92名

(問合せ先：三宅村災害対策本部 電話 04994-6-1549)

## 火山ガスと健康影響に関する Q&A

### Q リスクは人によって違うの？

A 二酸化硫黄に対する感受性は、個人差が大きいのが特徴です。同じ濃度でも、ある人にせきが出て別の人はせきをしないといったことがあります。これは感受性が一人一人違うためです。

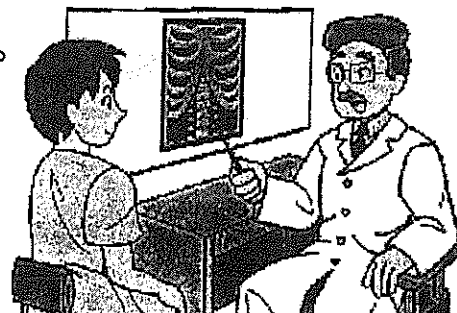
また大人に比べて子供は、せきやたんの影響を受けやすいと考えられていますが、子供は身体が小さいので気管も細く、同じ濃度でも大人より影響が大きめにでると思われれます。

リスクの大きさは人によって違うのです。

### Q 自分自身の感受性は、どうすれば分かるの？

A 健康診断を受けることで、二酸化硫黄に対して感受性が高いかどうか、概ねの程度を知ることができます。

しかし、普段は感受性が高くない人でも、インフルエンザや風邪などによって気管の状態が悪くなっている場合には、一時的に感受性は高くなります。また、長い間には感受性が変化することもありますので、健康診断を継続して受診し、変化を把握しておくことが必要です。



## Q 二酸化硫黄に対して抵抗力がつくことはないの？

A ありません。長い時間二酸化硫黄を吸い続けると、そのうちに慣れてしまい、高濃度の二酸化硫黄を吸い込んでも気づかない場合があります。これは抵抗力がついたわけではなく、感覚が麻痺しているのです。

## Q 二酸化硫黄の影響についてもっと教えて？

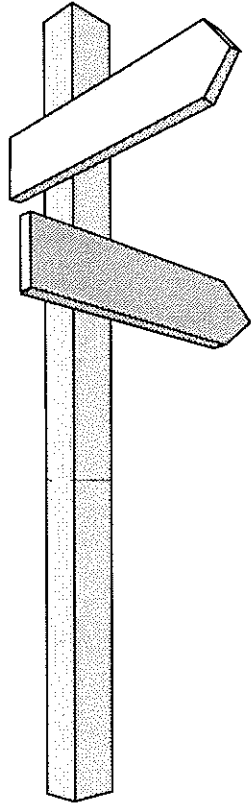
A 二酸化硫黄によって起きる影響は、以下の2つです。

1. せきやたん、ぜんそく発作の誘発等の呼吸器への影響。非常に高濃度の二酸化硫黄を吸うと、呼吸困難などの非常に強い影響が起きる可能性があります。
2. 二酸化硫黄が雨水や汗に溶け込んで弱い酸になることによる皮膚や粘膜への影響。皮膚の弱い人は、炎症を起して赤くなったりかゆくなったりします。アトピー性皮膚炎など、もともと皮膚に炎症がある人は、弱い酸性の水によって症状が悪化するリスクがあります。処置としては、水道水で皮膚を洗い、症状がひどい場合は医師の診察を受ける、ぬり薬をつけるなどが必要になります。



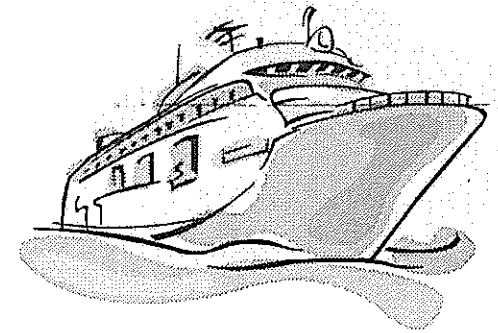
二酸化硫黄は皮膚から吸収されることはありませんし、肝臓や腎臓などの内臓をいためたり、子供を作ったり生んだりする能力(生殖)や胎児の正常な成長(発生)に悪い影響を与えることもありません。

# 火山ガスと健康影響について の わかりやすい解説書



平成15年8月

三宅村



平成12年9月の全島民の島外への避難から、間もなく3年になりますが、三宅島の火山ガスの放出は依然として続いています。二酸化硫黄の濃度が、健康を維持するために望ましい濃度として定められている環境基準を達成するには、どの程度の時間がかかるか分かりません。

このような状況の中、平成15年3月24日に、内閣府と東京都が共同で設置した「三宅島火山ガスに関する検討会」から報告書が出されました。

報告書では、次の4点を満たし、島民の合意を得ることができれば火山ガスの放出が続く環境での生活を可能としています。

- ①長期的影響からみた二酸化硫黄濃度の目安達成
- ②三宅島の安全確保対策の実施
- ③火山ガスと健康との関係を理解
- ④火山ガスの濃度が上昇したときに適切な行動ができる

この報告書の内容は、島民のみなさんが帰島するため、あるいは帰島するかどうかを判断するために、必ず理解して頂かなくてはなりません。そこで、三宅村では、各所でリスクコミュニケーションを行なっていますが、都合で参加できない方、参加したけれどよく分からない人のために報告書の内容の分かりやすい解説書をつくりました。良く読んで理解して下さい。

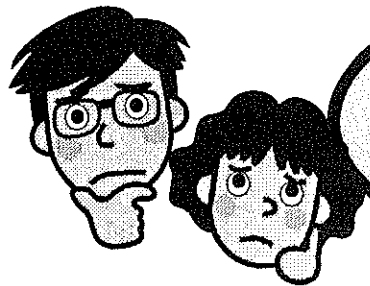
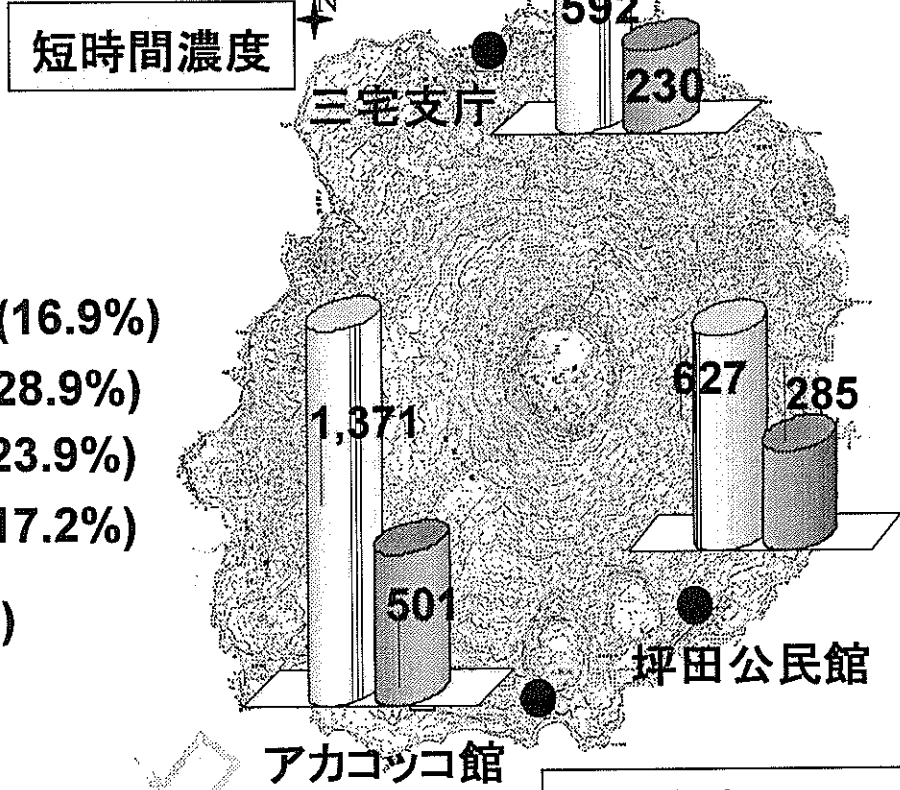
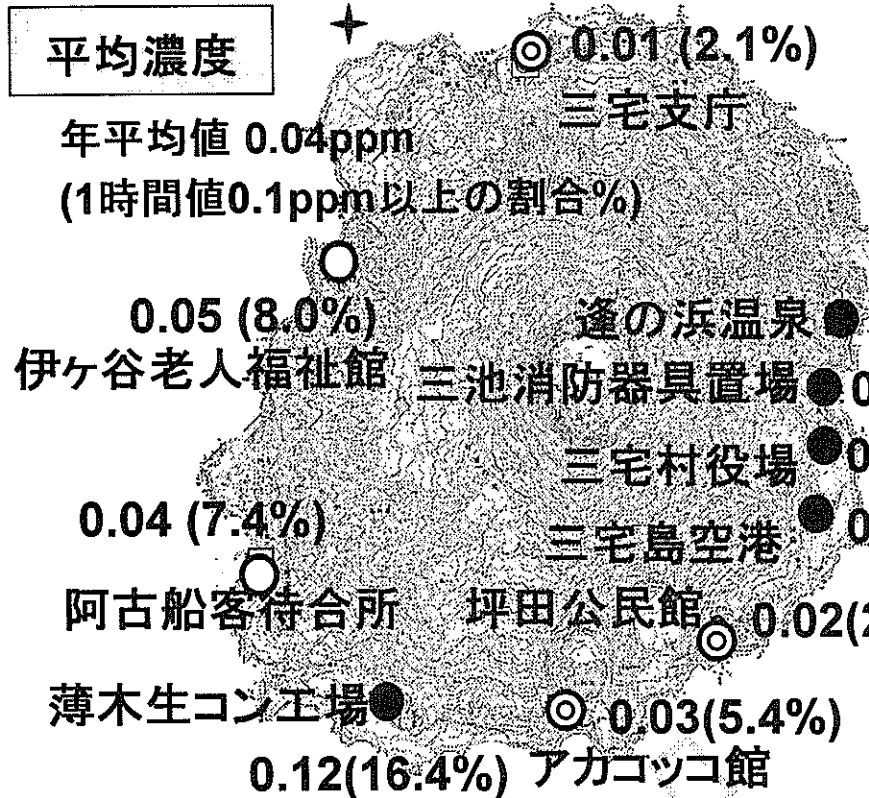
なお、この「火山ガスと健康影響についてのわかりやすい解説書」について質問等ありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

連絡先 〒163-8001  
東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁内  
三宅村災害復興室復興計画担当課計画係  
電話 03-5320-7826  
FAX 03-5388-1603

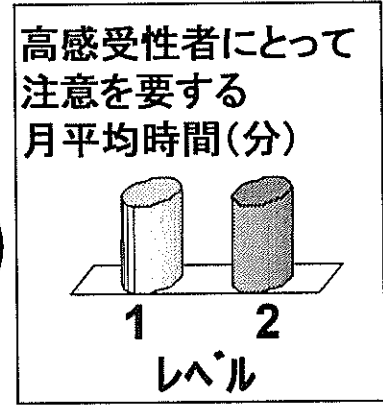
# 1 三宅島の火山ガスの現状

2002.7.1-2003.6.30のデータ

◎目安達成 ○概ね達成 ●目安未達成



何の制約もなく通常の生活ができる状況とは言い難い





三宅島では二酸化硫黄の濃度は環境基準を超えています。

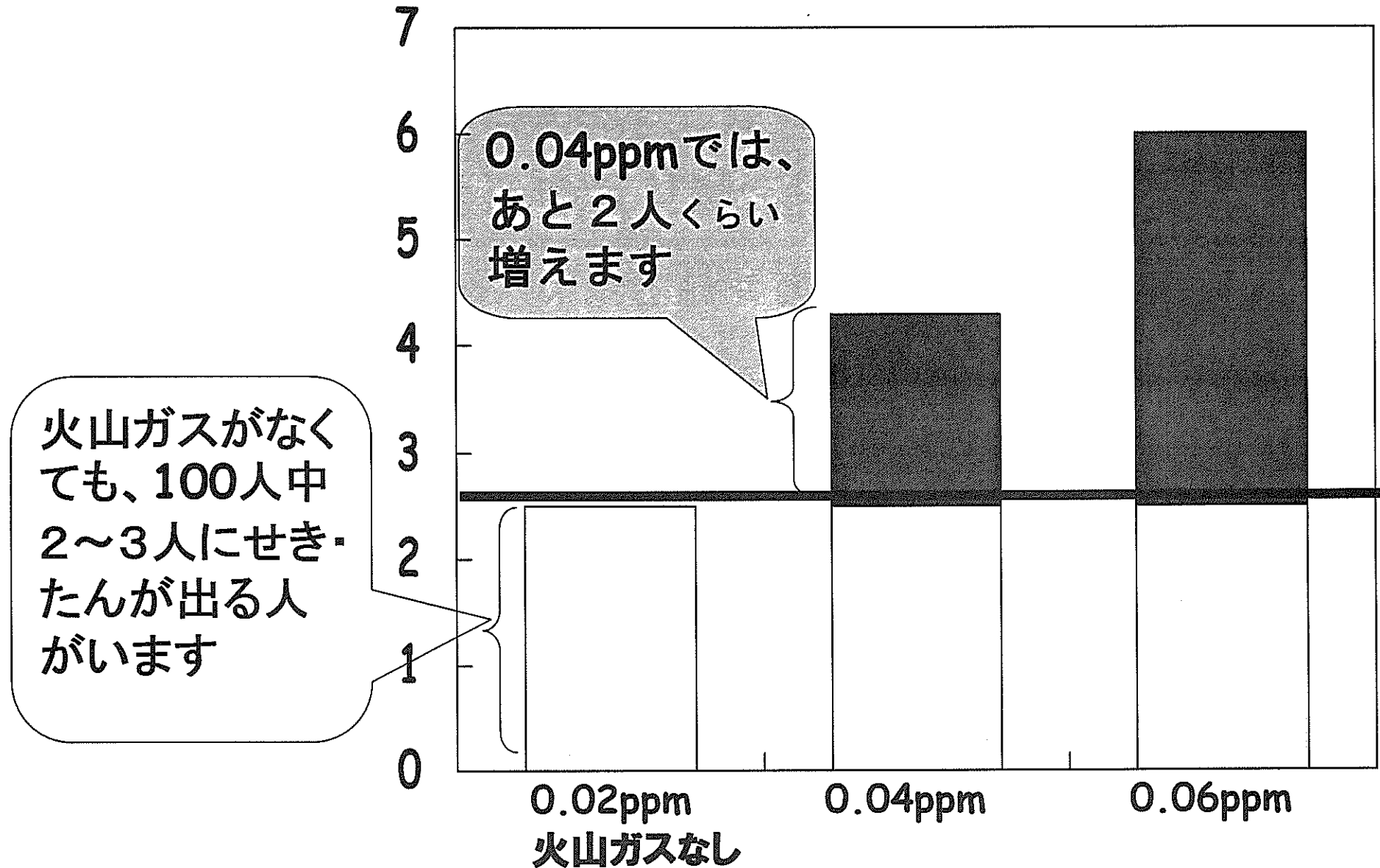
しかし、

- ①ある程度の健康影響リスクを受容
- ②健康診断で自分の感受性を把握
- ③短期、長期の濃度の目安と健康影響を提示
- ④情報公開とリスクコミュニケーション
- ⑤十分な安全確保対策

により、健康影響リスクを最小限にできます。

## 2 火山ガスと健康の関係(長期的影響)

(%) 二酸化硫黄濃度と「せき・たん」の有症率



長期的影響として、「せき」や「たん」が出る人が多くなるかもりれません。

しかし、その症状は慢性気管支炎やぜん息といった重い症状ではなく、

①軽い影響 ②なおる影響

といったものです。

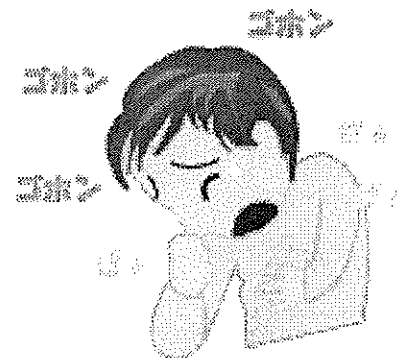
長期的影響についての二酸化硫黄濃度の目安  
年平均値が概ね0.04ppm以下

かつ、

1時間値0.1ppmを超える回数が年間10%以下

### 3 火山ガスと健康の関係(短期的影響)

火山ガスは急に濃度が高くなることがあります。  
濃度の高い火山ガスを吸うと呼吸が苦しくなることがあります。



三宅島で問題の火山ガスは二酸化硫黄です。  
二酸化硫黄は無色で刺激臭があり、眼やのどを刺激します。

二酸化硫黄に対する安全行動は個人差(高感受性者、要援護者、一般の人)があります。

警報レベルより高い濃度では、生命に関わる重篤な健康影響のリスクがあります。

二酸化硫黄を吸わないためにはガスマスクをつけることが大切です。

# 4 高感受性者(こうかんじゅせいしゃ)



新生児、乳児



妊婦



呼吸器疾患



循環器疾患



高感受性者とは、二酸化硫黄に対する感受性が高く、比較的low濃度で影響を受けやすいと思われる人です。

具体的にはぜん息等の呼吸器疾患や循環器疾患のある人、新生児・乳児・妊婦等です。

注意1:ここでいう、「感受性が高い」は、

精神的・心理的な感受性、過敏症は含まれません。

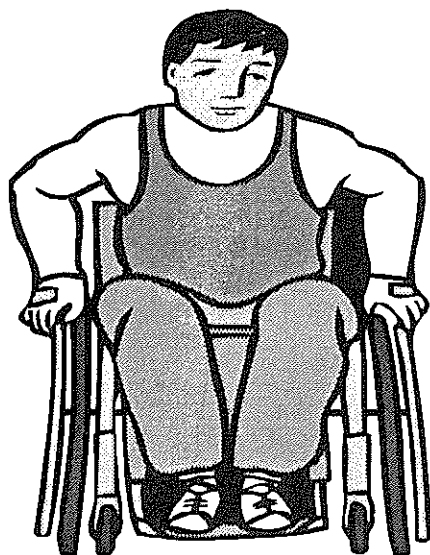
注意2:妊婦が高感受性者なのは「せき」により腹圧が高くなり、破水などのおそれがあるためで、二酸化硫黄によるお腹の子供への影響はありません。

# 5 要援護者(ようえんごしゃ)

小さな  
お子さん



高齢者



車椅子が  
必要な方



視力・  
聴力等障害者

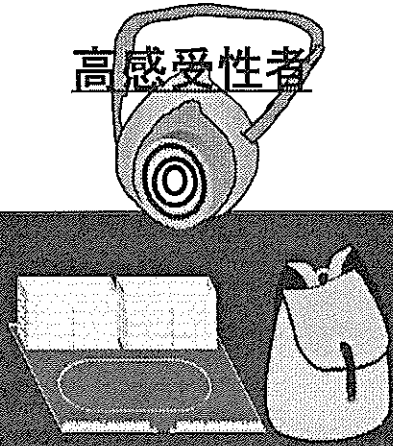

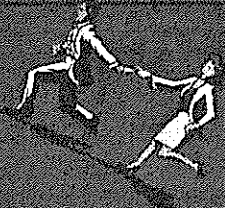
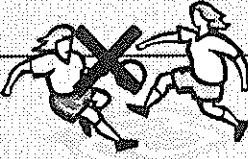
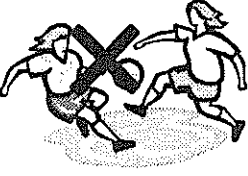
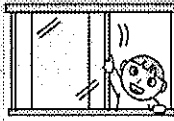


要援護者とは、注意報や警報がでた時、迅速な移動や安全行動の実行が困難な人です。

具体的には、幼児、児童、高齢者、障害者等援護が必要な方です。

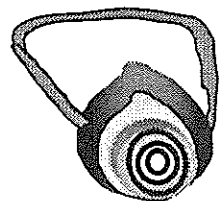
注意報や警報がでた時には、要援護者が身近にいたら、手をさしのべましょう。

# 6 濃度レベルと安全行動！

ppm 段階		高感受性者	要援護者	一般の人	
5.0	4 ×		ガスマスク着用。 避難施設に避難、あるいは低濃度地域に移動する。		警報
2.0	3 △		屋内に入り、症状があれば ガス吸入を 少なくする対策	ガスマスク着用	
0.6	2 ○				
0.2	1 ◎	 屋外での運動は避ける			

「注意報」のレベルであっても、症状があればガスマスクをつけ、体調の変化やその後の濃度状況に注意することが必要です。

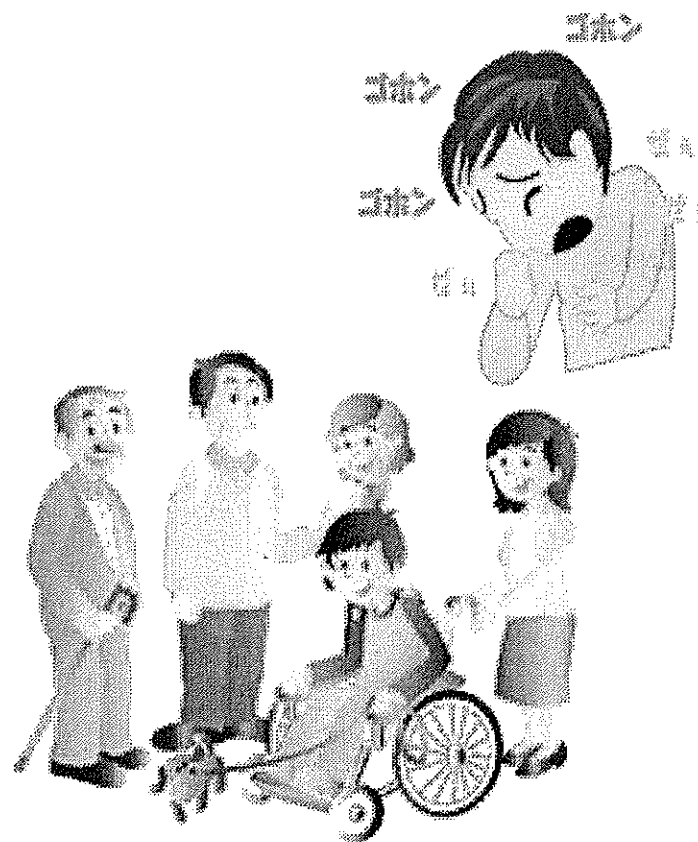
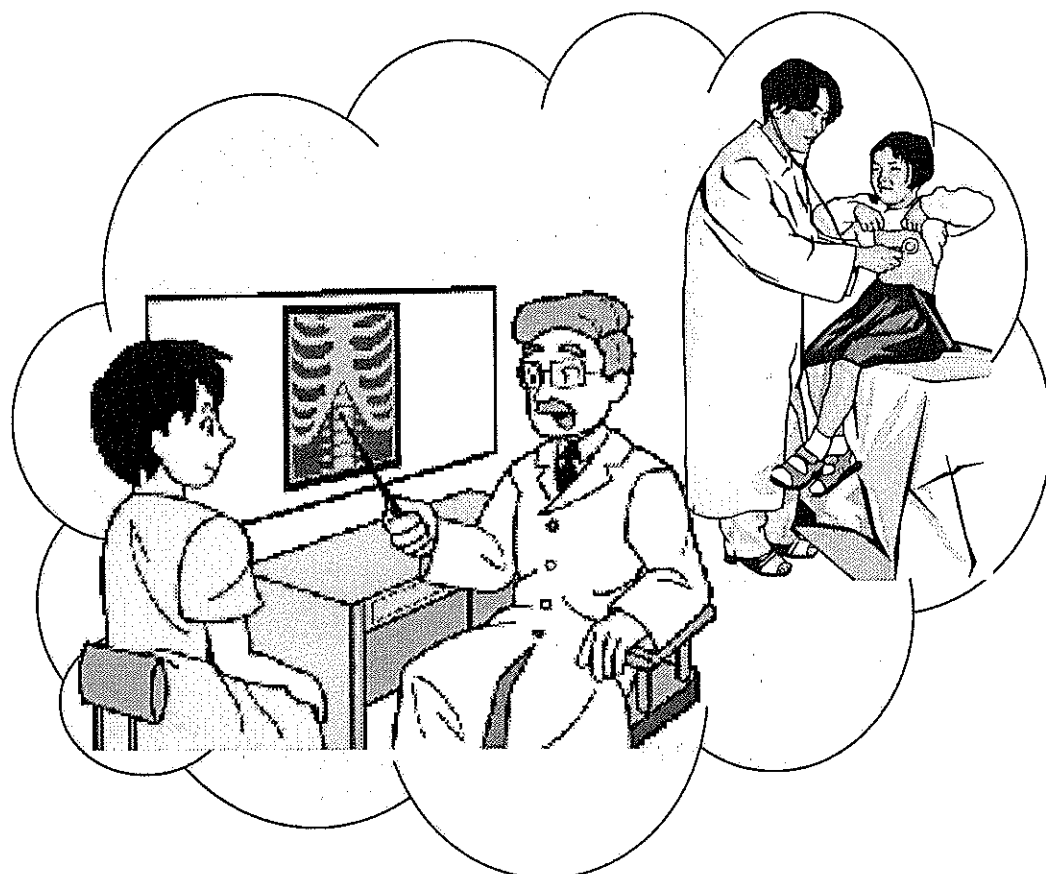
「警報」がでたら、正しい安全行動をとらなくてはなりません。火山ガスに慣れてしまうと、高濃度でも感じなくなってしまうこともあります。必ず的確な行動を取りましょう。



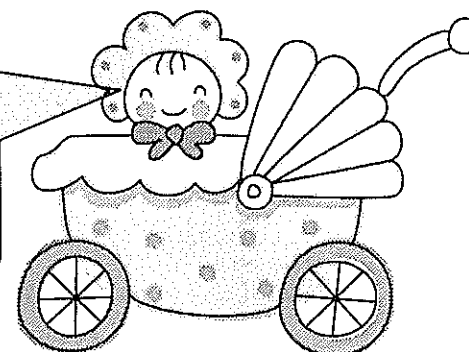
マスクのはたらき：

前面についている吸収缶がガスを吸着します。

# 7 健康診断の重要性



わたしは、ガスに  
対する感受性が  
高いの。



帰島前の健康診断は必ず受けて下さい。  
自分自身、家族、近隣者の二酸化硫黄に対する感受性を把握することが必要です。

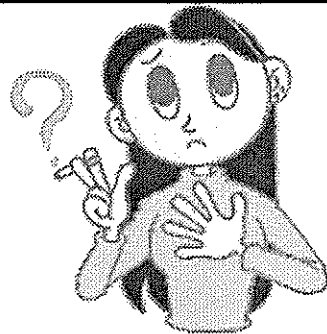
帰島後の健康診断は必ず受けて下さい。呼吸器系の健康状態の変化を診断するのが主な目的です。

また、呼吸器系の異常を感じたら、早めに診療所で受診しましょう。

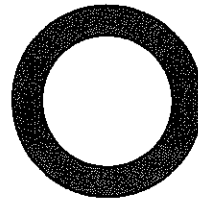
## 8 リスクってなんだ？



たばこを吸うと  
肺ガンになる  
リスクがある。



たばこを吸っている100人  
のうち全員が肺ガンになる。



たばこを吸っている100人  
のうち5人が肺ガンになる  
かもしれない。

予防対策(禁煙)をする事で、リスクを最小限に抑えることが可能！

リスクとは、「必ず起きる」ということではなく、「起きる可能性がある」「起きるかもしれない」ということです。

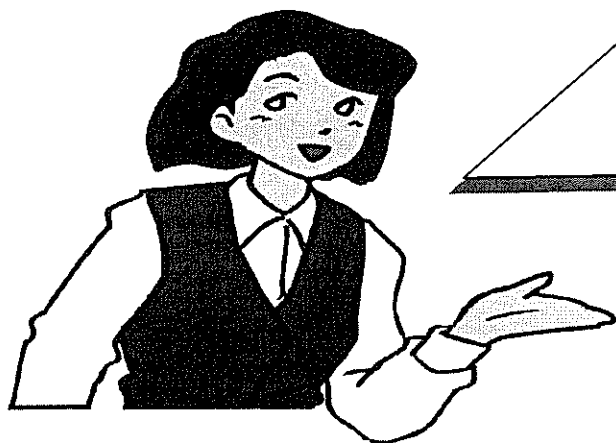
例えば、長期間二酸化硫黄を吸い続けると、「せき」や「たん」が増えるリスクがある

ということは、

「せき」や「たん」が増える可能性がある、あるいは、「せき」や「たん」が増えるかもしれないということです。

## 問題編

この問題は一人でも多くの方に、火山ガスについての知識を高めてもらうとともに、健康影響について考えていただく事を目的としています。



問1 雄山から出ている、火山ガスで問題になっている成分は、二酸化硫黄です。 はい・いいえ

問2 二酸化硫黄は、無色で刺激臭があり吸込むと呼吸器や眼、のど、などを刺激します。

はい・いいえ

問3 短期的影響は、瞬間的あるいは長期的に高い濃度の火山ガスを吸込むことで、身体に現れる影響のことです。 はい・いいえ

## 火山ガスの特性

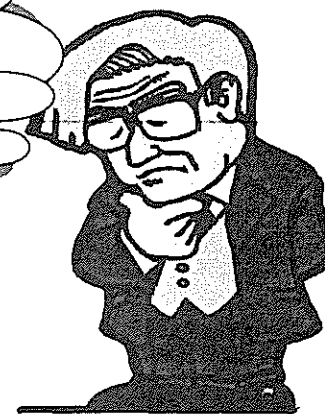


問4 低い濃度の火山ガスを長い期間、吸い続けるとすぐには健康や生命への影響はないが、『せき』・『たん』がある程度増えることがある。 はい・いいえ

問5 『高感受性者』とは、低い濃度の火山ガスで身体に影響が現れるおそれがあり、『ぜん息等』呼吸疾患や循環器疾患の人、新生児、乳児、高齢者等のことです。 はい・いいえ

問6 『要援護者』とは、高い濃度の火山ガスに覆われた時に、急いで避難できない人や人の援護等を必要とする幼児、児童、高齢者、障害者等のことです。 はい・いいえ

# 火山ガスと健康影響





問7 長期的影響の二酸化硫黄濃度の目安は？

※ 年平均値が概ね0.04 ppm以下

※ 1時間値0.1 ppmを越える回数が年間10%以下  
が目安となります。 はい・いいえ

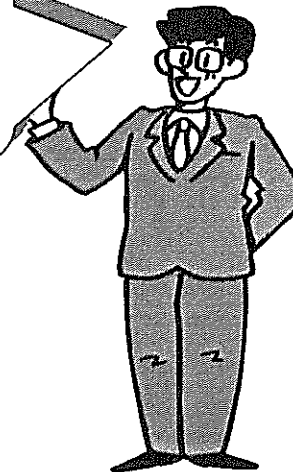
問8 短期的影響の濃度レベルを線で結んで？

レベル1 (0.2 ppm) ・ 高感受性者が注意 ・ ガスマスク着用

レベル2 (0.6 ppm) ・ 一般の人 が注意 ・

レベル3 (2.0 ppm) ・ 高感受性者が危険 ・

レベル4 (5.0 ppm) ・ 一般の人 が危険 ・ 避難施設に避難



# 避難行動



問9 帰島前に、なぜ健康診断を受けるの？正解はどちら。

- 1 健康診断を受けるのは、都内と島では気候が変わり風邪にかかるから。
- 2 健康診断を受けるのは、火山ガスに対する自分自身の感受性の程度を理解しておく必要があるから。

問10

火山ガスの臭いを感じたら、風邪用のマスクでもつけていれば安全です。

はい・いいえ

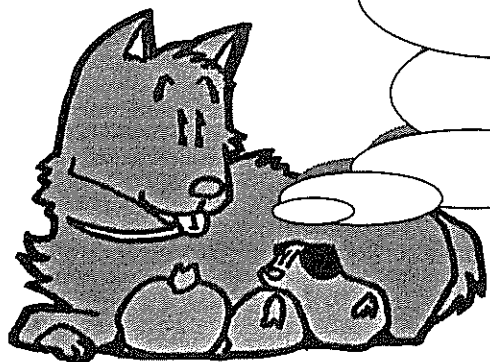


島民との合意形成

問1 1

リスクとは、長い間火山ガスを吸い続けると必ず『せき』や『たん』等の症状をおこすことです。

はい・いいえ



問1 2 帰島するには、

1. 長期的影響からみた二酸化硫黄濃度の目安達成
2. 三宅島の安全確保対策の実施
3. 火山ガスと健康との関係を理解
4. 火山ガスの濃度が上昇したときに適切な行動ができる。

この4点を満たし、島民の合意が得られることです。

はい・いいえ

# 安全確保対策と帰島



## 解 答 編

問1 はい

問2 はい

問3 いいえ（長期的 ⇒ 短期的）

問4 はい

問5 いいえ（高齢者等 ⇒ 妊婦等）

問6 はい

問7 はい

問8 レベル1 － 高感受性者が注意 － ガスマスク着用

レベル2 － 高感受性者が危険 － 避難施設に避難

レベル3 － 一般の人 が注意 － ガスマスク着用

レベル4 － 一般の人 が危険 － 避難施設に避難

（注） 要援護者の避難は、濃度レベルに関わらず早めの  
避難行動が必要なので、周囲の人の配慮が大事です。

問9 2

問10 いいえ（風邪用のマスク ⇒ ガスマスク）

問11 いいえ（おこすことです。 ⇒ おこす可能性があります。）

問12 はい

# 三宅村議会 日誌

(平成十五年八月十五日発行)

旧盆を迎え、早いもので避難生活も丸三年が過ぎようとしていますが、村議会では去る七月二十三日に、衆議院災害対策特別委員会を傍聴いたしました。

衆議院災害対策特別委員の皆さんは、七月十六日(水)ヘリコプターで三宅島を現地視察調査(当初十四日予定が天候不良で延期)を行い、また、二十日に発生した九州地方の大雨による災害が発生したこともあり、二十三日(水)に開催の災害対策特別委員会では、三宅島の噴火災害や、九州の災害に関する質疑が活発に行われました。

初めに上田委員長から、三宅島の現状について、その概要、「三宅島の火山活動が活発化してから三年が経過したが、

有害な二酸化硫黄を含む火山ガスの大量放出により、避難生活は長期化し、いまだ帰島の目的が立っていない状況であること。本委員会は去年五月にも同様の視察を行ったが、

今回の視察は、本格帰島後の生活の支援策等について検討するためにも、被災現場に立ち、被害状況や復旧事業の進捗状況について調査することが必要であるとの認識に基づき実施したものであること。

視察で、三池地区では、火山ガスによる影響を最も大きく受けた地区であり、トタン屋根が腐食し、一部青いビニールシートによる仮補修の様子が見られた。島全体での屋根の被害件数は六百九十九件であり、修繕実績は六百五十二件に上っている。

神着地区で軒まで泥流に埋

もれた家屋を視察した。全島避難に伴い、シロアリが増殖したことによる住宅被害も深刻で、駆除事業が実施されている。川田沢の砂防ダムにはすでに泥流が流れ込んでいた。島内ではすでに二十八基の砂防ダムが完成しており、二十三基のダムを建設計画中。

伊豆の避難施設で現状の説明をうけ、意見交換を行った後、伊ヶ谷沢の視察、空栗橋(仮橋)を車中視察し、その後村営牧場では大量の降灰と、白く立ち枯れた樹木で荒涼とした風景と、噴石で破れた牛舎の屋根が、噴火の激しさを物語っていた。

立根橋(仮橋)、昨年の台風で被害を受けた坪田漁港を視察した。視察の結果、本格帰島に向けての最大の障害となっているのが、今も大量に放出されている有害な火山ガスの存在であることを実感したが、火山ガスが終息する見込みが

立ち、帰島の目的がついた場合には、一日も早い帰島を実現するため、今後、村営住宅の建設、学校の復旧や電気、水道、ガスなどの生活基盤の整備を具体化することが重要であると認識した。」という視察報告がされました。

続いて行われた質疑で、実川委員の「三宅島の復興はもちろん、二十日未明の九州の災害、全国知事会での住宅再建を含めた被災者支援制度についての問いに、鴻池防災担当大臣は、「内閣府としても、大規模な災害発生時には、私が陣頭指揮を取って、災害応急対策を推進する。各関係省庁と連携を図りつつ、災害に強い国づくりを目指していかなければならない、被災者支援については、現行の被災者生活再建支援法附則や、制定時に付帯決議によって、施行後五年を目途に総合的な検討を行うとされている。それら

を踏まえて、全国知事会が、去る七月十七日に、「自然災害被災者支援制度の創設等に関する緊急決議」を取りまとめ

す。」という答弁がありました。議会でも要望を続けてまいりましたので、被災者の救済について、しっかりと法整備がされるよう、見守っていきたいと思います。

い。「ご苦労されていると身に染みて感じている。やはり災害対策としては、住宅再建が一番の課題であると考えるので、積極的に取り組むたい。」先日の委員会の質疑では、九州の豪雨災害もあり、

島に係る住宅再建は別の議論が必要だと考える。帰島時期やリスクの判断は難しいが、クリーンハウスを集落に作るか、クリーンルームを各戸に設置するかなどの対策がなされれば、早期の帰島が実現する可能性がある。」など、村議と共通する発言が多くあった。

が新たに資金を拠出して、公的資金、公的支援による住宅再建支援制度を創設することとして、そのための立法措置等を国に求めるものです。長年の経緯のある課題について、知事会議の意見集約がなされたことは、国としても真剣に受けとめたいと思っております。今後、内閣として、知事

七月二十五日(金)には、三宅島現地視察調査に参加した、衆議院災害対策特別委員会の上田委員長、実川理事、島理事、江田理事、松原理事、藤木委員、中川委員、黄川田委員の八名と、三宅村議員(日程が急に取れたため出席者七名)山田、高松、浅沼(功)、浅沼(徳)、梅田、寺本、谷、野村助役が同席で懇談を行いました。

の再建が重要である。そろそろ本格帰島が近いと感じられるが、被災住宅の保険の取扱など、しっかりと取り組みたい。「視察に当たって、理事会で、島民の皆様とお話したいとの意見があった。忌憚のないご意見、ご要望をお聞きしたい。住宅再建は皆保険にすべきと思っているが、三宅

野村助役は、「島民は一刻も早い帰島を望んでいるが、帰島後の生活再建が不安との声もある。地域の再生には膨大なエネルギーが必要であるが、行政だけで進めるのではなく、島民が主体となるような支援制度が必要である。とりわけ、住宅再建の具体化に向けてお力添えをお願いしたい。帰島後、すぐに農業の再開とは行かないが、現在のげんき農場やゆめ農園等の制度を活用し、農地が回復するまでの間、共同して農作物作りを考えている。」など状況説明と協力を求め、約一時間ほどで終了した。

会における要望内容等を十分にお聞きして、安定した住居確保のための支援策も含めた、被災者生活再建支援も含めた、被災者生活再建支援の充実に

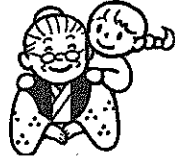
「島民の代表である三宅村議会の皆さんと対談が出来、長年のご苦労をお察し申し上げ、又、委員会としても問題の解決方法を考え、努力していきたい。」視察では島民の皆様と会うことが出来なかったが、私共もいっそう努力をした

成経過を通じて、関係各機関と調整の上、必要な措置を講じてまいる所存でございます

成経過を通じて、関係各機関と調整の上、必要な措置を講じてまいる所存でございます

平成15年 8月10日発行

# シルバーみやげ ミニ・ニュース



編集・発行

社団法人三宅村シルバー人材センター  
東京都千代田区飯田橋3-10-3  
シニアワーク東京2階  
TELL ; 03-3239-4343  
FAX ; 03-3512-3477

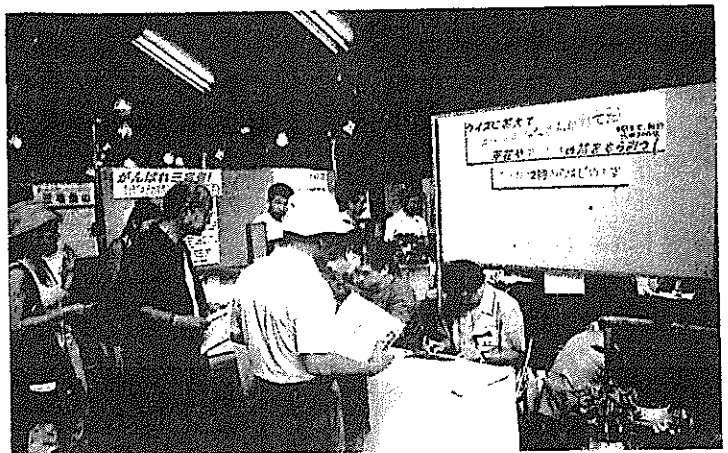
練馬区の広大な光が丘公園の一角にある「花とみどりの相談所」では、8月2日から17日まで、恒例の『夏のフェア'93』が開催されています。フェアのメイン会場には、「がんばれ三宅島！ 花と緑の応援団」をテーマに写真パネル、島の山野草、溶岩鉢の寄せ植えなどが展示され、会場は島の香りでいっぱい。受付や説明役は、同公園で就業している会員さんが交代で行い、訪れる区民の皆さんとの交流には絶好の機会、と張り切っています。



## 夏のフェア'93開催

会員参加で三宅島の素顔を紹介

相談所では、四期を通じていろいろなイベントや展示会を行っていますが、今回、島の自然を区民に広く紹介し、避難生活を送る島民を励まそうと特別に企画していただきました。リーダーの福沢信哉さんを中心に話はとんとん拍子に進み、会場では相談所職員の皆さんの創意工夫が随所に見られる展示効果に、目を見張る思いがしました。



会場の正面には「がんばれ三宅島！ 花とみどりの応援団」のパネルに災害復旧の様、噴火の様子、失われてしまった自然が少しずつ回復していることなどを紹介。会場の中ほどに溶岩鉢の寄せ植えをドッカーリと配し、それを取り囲むように公園で働く会員や「げんき農場」と「ゆめ農園」の様子、島の豊かな自然と噴火の爪痕をパネルで紹介し、つづくコーナーには、郷愁を誘う島の山野草の挿し絵（大石徹氏画）と本物の野草を対比しながら観賞できるように展示されています。

ダイヤモンドソウ、イソギク、ハゴロモ（アオクマケラシ）、ツケモンコ（ツルバ）など道すがら島のどこにでも生えていた「雑草」が、都会に、しかも自分の目の前にある。

夢うつつ時はさかのぼり、三年という避難生活の空白を埋めて余りある一時を過ごすことができました。この懐かしい

山野草の鉢は、当相談所の相談員・大菅文雄氏が長年丹精込めて育て上げたものだという。

### 花とアシタバ・プレゼント

このフェアのために「げんき農場」からアシタバ300鉢、「ゆめ農園」からマリーゴールド、サルビア、ポチュラカなど1,000鉢が贈られ、クイズの回答者にもれなくプレゼント、大変な人気を集めていました。

クイズの感想欄に、30代の女性から「“げんき”と“ゆめ”という言葉から皆さんのがんばって生活している様子が目に浮かびます。同じ都民として応援しています」というメッセージが寄せられていました。

このイベントには、木谷所長さんをは



平成15年 8月10日発行

じめスタッフの皆さんの「降灰や火山ガスにめげず、三宅島の地に花とみどりが一日も早く甦えって欲しい」という熱い想いが込められていることを、いつまでも心に刻んでおきたいものです。



## 保健科学大学で昼食会

去る8月5日、保健科学大学で就業している会員11人と会長、事務局長が昼食会に招かれました。

昼食会は昨年到现在2回目で、会員の日頃の労をねぎらいたいと米本学長さん自らご出席され、ほかに藤井事務局長、庶務課長、教務課長、各学科長4人、係長6人と大学関係者総出のにぎやかな昼食会となりました。

挨拶に立った学長さんは「皆さんのおかげで、構内が見違えるようにきれいになった。心からお礼を申し上げたい。帰島までにはまだ時間がかかりそうですが、健康には十分気をつけて頑張ってください。秋の青鳩祭には昨年同様、太鼓や鳥節で祭を盛り上げていただくよう今から楽しみにしています」と述べました。

平松会長は「高齢者にとってちょうどいい就業の場を提供していただき、感謝の念でいっぱいです。学生さんがお年寄りの働く後ろ姿を見て、何かを学んでいただければ、こんな嬉しい事はありません」と返礼の挨拶。いつもニコニコ明るい宮沢用度係長の進行でみんなの食欲もすすみ、大学側の出席者14人の皆さんからそれぞれお言葉をいただきました。

この6月着任された藤井事務局長は、避難当時福祉局で避難住民の対応に東奔西走。竹林庶務課長は、噴火当時三宅支庁の総務課長で不眠不休の大奮闘。ほかの皆さんも三宅島にご縁のある方が多く、会員の顔も心なしかほころんでいる様子でした。大学の皆さんから「いつもご苦労さま、ありがとう」の気持ちをいただき、この日はことのほかおいしい昼食会となりました。

## 八丈島で 除草作業

レザーファンの古葉整理作業のため、6人の会員が八丈島に渡ったのはこの3月下旬。夏草の時期を迎え除草隊を送り込むことになり、7月16日から26日までの10日間前田副会長をリーダーに6人が派遣されました。年はとつても、草取りにかけては誰にもひけをとらない会員さんばかり。八丈島に避難している会員3人を助っ人に、78棟のトンネルハウスの除草作業は、天候に恵まれたこともあり予定通り終了。

「いつものことだが、奥山先生の気遣いは、ほんとに申し訳けないくらいだよ」とはリーダーの話。

## パソコン教室

### ◆入門講座←最後のチャンス◆

避難してもうすぐ3年、まだパソコンになじめない人、いませんか？ 村は島民情報ネットワークを立ち上げて、帰島後の“村おこし”のテコにしようと計画しています。島民の方ならどなたでも参りますので、下記によりお申し込みください。

期間 8月27日(水)~29日(金)  
時間 10:00~15:00  
場所 三宅村シルバー・立川支所  
電話 042-548-3717  
定員 6名  
締切り 8月25日

平成15年6月分事業実績 (単位:円)

月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			計
				配 分 金	材 料 費	事 務 費	
6	公共	6	1,204	7,802,120	474,071	826,942	9,103,133
	民間	1	16	108,500	0	0	108,500
	計	7	1,220	7,910,620	474,071	826,942	9,211,633
累計	公共	16	3,509	22,645,540	1,600,270	2,423,904	26,669,714
	民間	5	58	373,760	0	560	374,320
	合計	21	3,567	23,019,300	1,600,270	2,424,464	27,044,034